

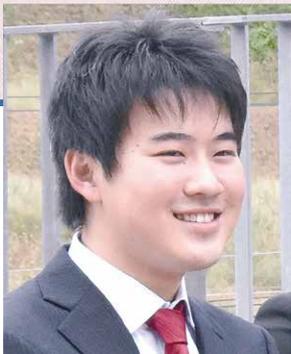
2018 新春市長対談



しずお
山下 史守朗

市長 × 新成人

これからの社会を担っていく若い世代の中から、新成人の皆さん4人を迎え、山下市長と「小牧の将来」について語っていただきました。(敬称略)



あか いけ たい き
赤池 泰季

名城大学都市情報学部。より多くの知識を身につけるため、大学での授業とは別に様々な講座を受講しています。昨年からは友人の誘いでウェイクボードをはじめ、今年はスキューバダイビングを始めるため沖縄でライセンスを取得しました。



ふじ た ゆう な
藤田 有南

愛知大学経済学部。ポウリング場でアルバイトをしながら第2外国語でタイ語の勉強をしています。将来就きたい仕事は具体的には決まっていますが、今やっているバトンが思う存分できて、人と関わる仕事に就きたいです。



はな き ゆう と
花木 祐斗

南山大学経営学部。大学では経営学や統計学、会計を学んでいます。新聞社での校閲のアルバイトやダンススタジオに通っています。将来は、業種などはまだ決まっていますが、学んだことを活かして起業したいと考えています。



に が き ほ の か
仁垣 穂乃香

名古屋大学法学部。以前から興味があった法律や政治の勉強をしながら、ラクロス部で毎日練習に励んでいます。将来は人の役に立つ仕事に就きたいと考えています。オフにはアルバイトや友人と美味しいものを食べに行きます。

市長 皆さんこんにちは。小牧市長の山下史守朗です。この度は成人おめでとうございませう。この対談では、皆さんの率直な意見を聞かせていただければと思います。よろしくお願ひします。

子ども夢・チャレンジ

No.1都市宣言

藤田 私がもし市長だったら、子育てする方のストレスを軽減するような政策をしたいと思ひますが、子育てをしやすいまちとしての小牧市の特徴を教えてください。

市長 小牧市は保育園の費用が第2子が半額で第3子目が無料であることに加え、これまでに有料だったおたふくかぜや水ぼうそうなどの予防接種を無料にするといった、お子さんの健康や安全・安心を大切にする政策を行っています。

藤田 「子ども夢・チャレンジNo.1都市宣言」のモニタメントを見て、小牧市は子育て支援に力を入れているんだと改めて感じました。

市長 そのとおりです。小牧市はお子さんの健やかな成長に

焦点を当てて、**全ての子どもたちが夢を持ってチャレンジできる環境を整備**することを市内外に示すため「**ごども夢・チャレンジNo.1都市宣言**」を行いました。

子どもたちの夢を応援する取り組みとして、市内全小学校でサッカー選手や野球選手、オリンピックのメダリストなどトップアスリートに教壇に立つてもらい、困難を乗り越えながら夢を実現した自らの体験を語ってもらう「**夢の教室**」を行い、「**夢を持つことの大切さ**」、「**仲間と協力することの大切さ**」などを学ぶ機会としています。

また、海外での語学研修やフィールドワーク、ボランティア活動など、提案者が自ら考え、公開プレゼンテーションを行い、審査を通過した企画の活動に対して必要費用の一部を助成する「**夢にチャレンジ助成金**」制度により、夢へのチャレンジ精神を



育成する環境づくりを行ってまいります。

さらに、昨年から中学生を対象に、学習習慣、基礎学力の定着を目指した無料の「**駒来塾**」という教室を北里地区と東部地区に始めました。

家庭環境や経済的な理由にとらわれずに、誰もが夢を持って前向きに頑張れる環境づくりを目指しています。



高齢者に優しい交通網を

花木 日本は高齢化社会とニユースなどで取り沙汰されている中で、小牧市は車がないと移動しづらいなど感じますが、高齢者のための交通手段についてお伺いしたいです。

市長 高齢化の中で誰もが行きたいところに行けるといことを保証

していくというのは非常に大事なことです。小牧市では、**巡回バスの路線を、これまで8コース、8台だったものを平成27、28年の2か年で、19コース、18台に大幅に拡充**しました。私が就任した6年半前は、年間で約30万人を切るぐらいの乗客数でしたが、今は60万人を超えています。

花木 バス停がとても多いとお伺いしました。

市長 今、小牧市では**全てのお住まいからおおむね半径500メートル以内に必ず駅かバス停があります**。乗り継ぎが必要な場合もありますが、市内の行きたいところには行けるようになっていきます。また、こまき巡回バスは**65歳以上の方は無料で乗車**いただけます。

花木 全ての住まいから500メートルはすごいですね。自宅から半径500メートル以内に必ず駅かバス停があるまちは、全国にそんなにないと思うので、もっとアピールしても良いと思います。

市長 公共交通網としては、巡回バスの役割は非常に大きいと考えていますので、今回のコース、台数の拡充で最低限のインフラは整ったかなと思っています。



新図書館の建設

仁垣 市内にもっとおしゃれなカフェとか、勉強ができる広い空間があれば良いなと思っていますが、今後そういう空間ができる予定はありますか。

市長 小牧市では小牧駅前A街区に平成32年度末を目標に**新図書館の建設を進めています**。昨年の6月議会では基本設計などの予算が議決され現在設計中です。

仁垣 素敵な意見がたくさん挙がっているとお伺いしました。

市長 はい。昨年10月に小牧南高校の皆さんが行ったスクールミーティングで新しい図書館について意見をお聞きしたところ、「カフェを作ってほしい」、「静かに勉強したい」、「グループ学習で相談しながら、みんなで勉強したい」など、様々なご意見をいただきました。





このほかにも、「ベランダやバルコニーで緑に囲まれた空間が欲しい」、「太陽光を取り入れて、開放感のある空間にしてほしい」など、設備面での意見もお聞きできました。

市民ワークショップなどを通して多くのご意見をお聞きしながら、今まで図書館へ行ったことのない人たちも、行ってみたいと思う図書館をつくりたいと思っています。

まちを変えていくには10年、20年という長い年月を要します。まちな核をつくることで、徐々に周辺も変わっていき、活力のある住み良いまちになっていくと考えています。

ウォーキングアプリ

赤池 僕はスポーツが好きで、大学

生になってからウエイクボードやスキューバダイビングを始めました。小牧市がスポーツで新しく挑戦しようとしていることがあれば教えてください。

市長 スポーツというと、健康づくりを応援するために、小牧市独自のウォーキングアプリ「arko」を平成28年10月に開発し、個人の方や企業の方に幅広く愛用していただいています。

赤池 はい。僕も入れています。

市長 「arko」は、歩数、歩行時間、消費カロリーを計測してグラフで表示したり、個人やグループ、年代ごとにランキングをする機能を備えていて、みんなが楽しみながらウォーキングができるアプリです。

今、健康寿命と実際の寿命の間に男女とも10年ぐらい開きが



あって、健康寿命を延ばすためにも運動をすることは非常に大事だと思えます。ぜひ多くの方に利用していただきたいですね。

ピーチライナーのこれから

花木 僕は桃花台に住んでいます。ピーチライナー撤去工事の今後についてお伺いしたいです。

市長 残念ながら廃線になって10年以上経ちますが、ピーチライナーは県の所有物のため県の予算で徐々に撤去工事が実施されています。県には地震などの災害に備えて、維持管理をしつかりしていただくよう再三お願いしています。

元気と支え合いの循環を

藤田 私はバトントワリングの練習が日々の癒しですが、市長はお忙しい中、リフレッシュには何をされていますか。

市長 忙しくてなかなか自分の時間が持てませんが、身体を動かすのはリフレッシュになりますよね。これからは「arko」を使ってもっと運動をしたいと



思っています。

藤田 健康づくりがリフレッシュになれば一番良いですね。

市長 このほかにも、まちを元気にする取り組みとして、昨年の10月から「こまき支え合いいきいきポイント」という制度を始めました。介護施設や高齢者サロンなどのお手伝いとかが、ちょっとした地域の高齢者の困りごと支援をしていたら人にポイントを付与するという制度です。貯まったポイントは「市内限定商品券」に交換することで地域の元気にも還元していただき、ひとと、まち、両方に、



新成人一同 ありがとうございます。

これからの夢を描き、それに向かって羽ばたいてください。応援しています。本日はありがとうございます。

最後にありますが、皆さんには夢に向かってチャレンジしていただきながら、市の取り組みや地域の活動などにも参加していただきたいですし、またいろいろなお意見、ご提案もいただきたいと思っていますので、ぜひよろしく願います。

「元気」と「支え合い」が循環する地域づくりを小牧市は目指しています。
赤池 様々な政策が循環してひとつに繋がることで、小牧市がより良いまちになるのですね。
市長 子育て世代の皆さんにずっと住み続けてもらいたいですし、新たに小牧市に住んでももらえるようなまちづくりをしようと考えています。
ぜひ皆さんにも小牧でこれからも頑張ってもらいたいですし、「小牧はいいまちだよ」ということを、アピールしてもらえらまちにしたいと思っています。

対談後記

思ったより緊張せずに、自分の意見を言うことができました。市政のことを身近に感じられるようになり、勉強になりました。

藤田 有南

子育て支援制度や巡回バスの充実ぶりを聞いて、改めて良いまちだと思いました。

赤池 泰季

政治の実状を聞くことができ、良い経験になりました。市長として様々な場面で決断していくことの難しさ、大変さが分かりました。

花木 祐斗

山下市長が気さくで、楽しく対談できました。市の施策について興味を持つことができたのが良かったです。

仁垣 穂乃香



新成人の皆さん、ご成人おめでとうございます。
小牧市は皆さんの夢・チャレンジを応援します！

